

船舶事故等調査報告書

平成26年6月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014那第2号
事故等種類	運航不能（機関損傷）
発生日時	平成25年12月28日（土） 17時30分ごろ
発生場所	沖縄県南城市崎原埼南西沖 南城市所在の奥武港第4号灯標から真方位073° 0.3海里付近 （概位 北緯26° 07.8′ 東経127° 47.0′）
事故等調査の経過	平成26年1月10日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーモーターボート あやか、5トン未満（長さ4.74m）
船舶番号、船舶所有者等	296-13228沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	船外機が濡損
事故等の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、崎原埼沖で錨泊中、帰るため、船外機を始動しようとしたが、始動できず、平成25年12月28日17時30分ごろ運航不能となり、親族にその旨を連絡した。 本船は、親族から連絡を受けて来援した巡視艇から引き継いだ僚船により、南城市奥武島漁港にえい航された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	本船は、船外機が始動直後に停止するため、船長が、船上でキャブレターを開放点検したが、異常については分からず、海上保安庁に連絡を取ろうとしたものの、携帯電話の電源を喪失し、通報できなかった。 船長は、救命胴衣を着用していた。 本船は、本インシデント後、修理することなく売船された。
分析	
乗組員等の関与	不明
船体・機関等の関与	あり
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、崎原埼沖で錨泊中、船外機が始動直後に停止する状況になったことから、運航不能となったものと考えられる。 本船の船外機が、始動直後に停止する状況になった要因を明らかにすることはできなかった。
原因	本インシデントは、本船が崎原埼沖で錨泊中、船外機が始動直後に

	停止する状況になったため、発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等による被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 緊急事態に備え、出港前に携帯電話の充電を十分に行い、連絡手段を確保すること。